第33号

# 教育支援室だより

八幡浜市教育委員会
教育支援室　☎ 21-6864
sien1@yawatahama.ed.jp
令和７年９月１日 発行

## 「クレイセラピー」

教育支援室　室長　甲野　正人

記録的な酷暑の夏が過ぎ、朝夕は日差しの中にも秋の気配が感じられるようになりました。長い夏休みを終え、子どもたちの元気な声がそれぞれの学校（園）に戻り、実りの２学期が始まりました。

この夏、教育支援室では恒例のクレイセラピー（陶芸）を行いました。ひんやりと柔らかい粘土の塊は、まるで無限の可能性を秘めた子どもたちの姿を映しているようです。

日々成長する我が子を前に、保護者の皆様は「こんな子に育ってほしい」との願いから、つい力を入れてしまうこともあるかもしれません。しかし粘土と同じく、その子自身の声に耳を澄まさずに一方的に形をつくろうとすれば、本来の輝きを失わせてしまうことがあるかもしれません。

行事も多く、心身ともに大きく成長する季節です。大切なのは、お子さんの感性（特性）や希望、そして悩みにそっと寄り添い、一緒に考えながら、その力を信じて支えていくことなのかもしれません。そうしてできあがった作品は、（私の作品のように）少々歪んでいても、それが世界に一つしかない個性という「味」となり、温かい光を放ちます。お子さんの自分らしさが輝くよう、私たち支援室も共に応援しています。

制作した作品の焼き上がりが待ち遠しい毎日です。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

## お　知　ら　せ

**☆ ペアレント・メンター個別相談**

ペアレント・メンター個別相談では、ペアレント・メンター養成講座を受講した「発達障がいのある子どもを育てたことのある先輩保護者」が、同じ親だからこそ分かる子育ての悩みや不安に寄り添いながら、それまでの子育ての経験情報を共有し、前向きな子育ての一歩を応援していただけます。

第３回10月９日(木)10:00～　第４回12月11日(木)10:00～
第５回 ２月４日(水)10:00～
※ お問い合わせ　教育支援室(担当：高廣) ☎２１－６８６４

**☆ 療育・教育相談**　（幸田裕司先生　第３回・５回）
予約受付中　　（桑原綾子先生　第４回・６回）

第３回 ９月 ９日(火) ①13:30～ ②14:30～ ③15:30～
第４回11月 ７日(金) ①13:30～ ②14:30～ ③15:30～
第５回 １月20日(火) ①13:30～ ②14:30～ ③15:30～
第６回 ３月 ６日(金) ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

**☆ ミュージック・ケア（音楽療法）**

第３回10月 ４日(土)　10:00～11:00 保健センター ４階
第４回12月13日(土)　　〃
第５回 ２月 ７日(土)　　〃

※ 参加を希望される方、詳しい内容を知りたい方は、教育支援室までお電話ください。

**☆ きりんカフェ（登校しづらいお子さんを持つ保護者の会）**

１ 日時　第３回 ９月10日（水）10:00～11:30
※おおずふれあいスクールの相談員が参加します。
第４回11月12日（水）10:00～11:30
２ 場所　教育支援室（保内庁舎１階）
３ 申込み方法　　開催日の前日までに、ご連絡ください。
教育支援室　電話：２１－６８６４

**☆ にこにこみかんトーク（保護者座談会）**

第２回10月31日(金) 10:00～11:30
第２回は、今治市から桑原綾子先生を助言者にお迎えして、保護者座談会を開催します。

第３回 １月21日(水) 10:00～11:30

※　参加を希望される方は、お気軽に教育支援室までお電話ください。

## 発達支援に関する講演会のご案内

◇ **日　時**　令和７年11月８日(土) 14:00～16:00

◇ **会　場**　八幡浜市民文化活動センター(ｺﾐｶﾝ)忠八ホール

◇ **演　題**　「 知ってほしい、きょうだいの気持ち
― 寄り添い、支え合う地域を目指して― 」

◇ **講　師**　滝島　真優　氏
( 成蹊大学 文学部 特別研究員 )
( きょうだい会　SHAMS　代表 )

◇ **申込み**　後日配布する、講演会案内チラシの申込書を所属の保育所、幼稚園、学校に提出してください。また、教育支援室に電話、ファックス、メール、ＱＲコードで、直接申し込んでいただいてもかまいません。

【プロフィール】

たき　しま　　ま　ゆ
滝　島　　真　優　氏

**社会学博士、社会福祉士、精神保健福祉士**

社会福祉士として障害者就労支援事業、相談支援事業に従事し、現在は学齢期のきょうだい児支援に関する研究、社会福祉士の養成教育等に従事している。

双子の弟が知的障害を伴うASDである姉の立場としての経験から、2008年栃木県宇都宮市を拠点に学齢期のきょうだい児を対象とした任意団体「きょうだい会 SHAMS」を創設、運営を行う。アメリカにて開発されたSibshops（慢性疾患や障害のある子どものきょうだいが受けやすいとされる心理社会的影響に対する予防的支援プログラム）ワークショップファシリテータートレーニング修了（2008年熊本、2016年アメリカ・シアトル）。

## 夏季休業中に実施した研修会を紹介します

**【 学校生活支援員研修会 】**　　７月22日(火)

清水 裕子 氏(早蕨看護臨床研究所長・香川大学名誉教授)を講師にお招きし、「発達障害をもつ子どもや教員とのコミュニケーションスキル」と題して講話をいただきました。特別支援教育に関わる援助の倫理原則をはじめ、子どもや教員とのコミュニケーションの在り方について、対話のエクササイズを研修しました。

**【 特別支援教育コーディネーター等研修会 】８月６日(水)**

武田　梢 氏(ペアレントメンターまつやま会長・NPO法人ぷちすてっぷ 相談支援専門員)を講師にお招きし、「切れ目のない支援のためのライフスキル」と題して学校・家庭・福祉の連携と子どもの自立についてお話いただきました。その後、幼保・小と中・高部会に分かれ、各校の特別支援教育コーディネーターとしての活動の現状や課題について、情報交換を行いました。共通する悩みや、校種特有の課題等に触れることができ、充実した情報交換ができました。また、互いに今後も連携を深めていくことを確認しました。

**【 教育相談員等研修会 】**　　８月22日(金)

今回は、こども家庭センターとの合同研修を実施しました。米田 京子 統括支援員からこども家庭センターの取組について説明いただいた後、ヤングケアラーの視点でグループ演習を行いました。研修会を通し、各学校と関係機関の連携と切れ目のない支援の大切さについて確認しました。

# ソーシャル・スキル・トレーニング（ＳＳＴ）

第１回「スポーツスキル」６月２１日（土）・第２回「学校・生活スキル」７月５日（土）

ＳＳＴでは、発達に支援の必要な子どもたちが、苦手を克服し、やる気を引き出す活動を経験しながら、必要なコミュニケーション能力を身に付けていくことを目指しています。６月 21 日（土）、第１回のＳＳＴは、「親子で楽しく体を動かそう」と題し、スポーツスキルについてトレーニングしました。８名の児童・生徒とその保護者が参加し、準備体操後、バランスロックや平均台を使って、親子で手をつないでバランス・ウォークをしたり、ボールを使って色々な運動に挑戦したりしました。

７月５日(土)、第２回のＳＳＴでは、「七夕かざりをつくろう」と題し、ゲームや製作活動を通し学校・生活スキルについてトレーニングしました。７名の児童が参加し、自己紹介をした後、フルーツバスケットでウォーミングアップしました。その後、色紙を加工し輪を作ってつなげたり三角に切ったものをつないだりして飾りを作りました。そして願い事を書いた短冊とともに、小さな笹に取り付け見事七夕飾りが完成しました。親子で協力したり、参加者どうしで工夫したりしながら取り組めたＳＳＴでした。参加者の皆さんのすてきな笑顔が輝いていました。

## ＳＳＴ夏休み親子イベント

今年度も、陶芸家の毛利希先生、井上祐子先生を講師にお迎えし、クレイセラピーを実施しました。親子３組７名が参加して、小物づくりに挑戦しました。

今回は、始めに毛利先生手作りの紙芝居「ねん土物語」で、粘土はどのようにして作られるのかやその性質などについて楽しく紹介していただきました。

粘土のことを勉強した後、さっそく作品作りに取り組みました。自分が希望した２色の粘土を使って、一輪挿しや小物入れ、小動物や人形など、それぞれイメージを膨らませながら、個性ある作品に仕上げていきました。参加した皆さんは、土とふれ合う活動を通し、親子のふれ合いも深まりました。

参加した皆さんの心も、粘土のように少しだけ柔らかくなったのではないでしょうか。親子で対話しながら充実した時間を過ごすことができました。作品の焼き上がりがとても楽しみです。

## アートセラピー〔芸術療法〕８月 25 日（月）

色彩アトリエ「ま・しろ」（松前町）の白石弘美先生（アートセラピスト／公認心理師）を講師にお迎えし、アートセラピーを実施しました。アートセラピーは、創作活動をすること自体に癒し効果があり、また、アートを通したコミュニケーションの中で、心の内面に触れていく心理療法です。今年は、「ガチャガチャアート！～カプセルに、なに入れる？～」のテーマで、ガチャガチャのカプセルに入れる小物づくりに挑戦しました。始めにガチャガチャに関するクイズでその歴史や楽しさなどについて学びました。その後、カプセルの中に入れる小物を何にするか、それぞれがテーマを考え、紙粘土を使ってカプセル４個分の小物作りに取り組みました。動物やフルーツ、ドーナッツ、お寿司など、紙粘土で形を作り、色を工夫しながら小物づくりに取り組みました。最後に、出来上がった小物をカプセルに入れ、ガチャガチャ本体に入れ、ハンドルを回しカプセルを取り出しました。何ともうれしい瞬間でした。

楽しくて、あっという間に時間が過ぎてしまいました。柔らかな紙粘土の感触を楽しみながら、とても心が癒やされました。

## 増加傾向にある支援を要する子どもや、家庭・学校をサポートしていきます。

教育支援室（保内庁舎１階） 困ったことがあったら、いつでもご相談ください。

☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室）
☎ ０８９４-２１-６８６４ 月～金 8:30～17:00

☆ 八幡浜 心の悩み 110 番（八幡浜市教育委員会教育支援室）
☎ ０１２０-８０５-４１５ 月～金 8:30～17:00

☆ 警察安全相談（八幡浜警察署）
☎ ０８９４-２２-０１１０ 24 時間受付

☆ いじめ相談ダイヤル２４（愛媛県教育委員会）
☎ ０１２０-０-７８３１０ 24 時間受付

☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省）
☎ １８９（いちはやく）児童虐待通報電話 24 時間受付

☆ こどもの人権 110 番（法務局）
☎ ０１２０-００７-１１０ 月～金 8:30～17:15

☆ こども電話「ひびき」（ﾁｬｲﾙﾄﾞﾗｲﾝﾊｰﾄｺｰﾙ・えひめ）
☎ ０８９-９１７-７７９７ ５と０の付く日 16:00～21:00

☆ １８歳までのチャイルドライン（ﾁｬｲﾙﾄﾞﾗｲﾝ支援ｾﾝﾀｰ）
☎ ０１２０-９９-７７７７ まいにち 16:00～21:00

☆ やわたはま元気ノート（児童生徒のタブレット端末を利用したセルフチェックとＳＯＳなんでも相談の実施）